

平成31年度使用
教科用図書採択選定資料
中学校用
(特別の教科 道徳)

宮城県教育委員会

目 次

1	道 徳	1 ~ 8
①	東京書籍	1
②	学校図書	2
③	教育出版	3
④	光村図書	4
⑤	日本文教出版	5
⑥	学研教育みらい	6
⑦	廣済堂あかつき	7
⑧	日本教科書	8

発行者の番号・略称及び教科書の記号・番号については
「平成30年4月 文部科学省 発行 中学校用 教科書
目録（平成31年度使用）」による発行者の番号・略称等
である。

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳 7 2 1 8 2 1 9 2 1	書 名	新 し い 道 徳 1 新 し い 道 徳 2 新 し い 道 徳 3
			東書				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物事を広い視野から多面的・多角的に捉え、生き方を深く考えることができるよう、様々なジャンルの教材が配され、補助教具等も工夫されている ○ 各学年にそれぞれ3教材からなる「いじめ問題対応ユニット」と「生命尊重ユニット」が設定され、命を大切にし、思いやりや共生の心を育めるよう工夫されている。 ○ 教材は、内容項目ごとに発達の段階に応じてより高度な内容になるように配慮されており、生徒が考える範囲を広げ、深めることで学ぶ意欲が高まるように工夫されている。 ○ 情報モラルや防災・安全、生命倫理など現代的な課題について、多面的・多角的に考え、議論できる教材が選定され、学習の充実を図ることができるよう工夫されている。 ○ 教材は、日常的なことから、力強い生き方、人間の力を超えた自然等、様々な道徳的価値の視点から考えられるよう配慮されており、それぞれの教材の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1つの内容項目について3学年で系統的に配置し、学年を追って深く考えられるよう配慮され、人間としての生き方についての考えを深める学習が展開できるよう組織されている。 ○ 学習指導要領の内容をもれなく扱い、どの内容項目をどの教材で学ぶのか明示してある。各教材の冒頭に設定したテーマによって、ねらいを明確に捉えられるよう工夫されている。 ○ 教材の後にグループエンカウンターやモラルスキルトレーニング等を配置し、役割演技（体験的な学習）の場面を設けるなど、発展的な学習ができるように工夫されている。 ○ 必修が30教材、付録は5教材の設定で、柔軟にカリキュラムを組める配列と分量で、1単位時間内に、考え、議論する時間が確保できるように文章の長さが調整されている。 ○ 行事の時期を意図した生徒作文の配列によって、各学校の教育課程と連動した道徳の時間の設定が可能である。自分の体験を道徳的価値として高められるよう工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教材を考え、問題解決的な学習で構成されるとともに、漫画を使用した導入や役割演技など、様々な学習方法が提示されている。 ○ 話合いや議論の手がかりとなる思いや気付きを自由に書き込むことができるよう、各教材に「つぶやき」コーナーを設けるなど主体的な学びを促す工夫がされている。 ○ 思考の質を高めることを目的とした心情円や、考えを書いたり消したりできるホワイトボード用紙を収録し、生徒の多様な個性や能力に対応できるよう配慮されている。 ○ 各教科等と関連する教材には、その教科のマークを教材冒頭の右下に配置し、関連する教科との関連が図れるよう、配慮されている。 ○ 各学年の巻頭には、オリエンテーション資料を配置して道徳の時間の流れを示す工夫が施され、巻末には学期ごとに切り離して提出できる学習の記録（自己評価）が収録されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章の中で誤読しやすい言葉には振り仮名を付けるなどの配慮があり、また、設問や学習のヒントでは文節の区切りで改行し、文意を捉えやすくするよう配慮されている。 ○ 全体的にシンプルなデザインで、学習指導要領の4つの視点を記号化して教材の初めに示すなど、生徒が学習に集中しやすいよう配慮されている。 ○ 活字は、一般の書体よりもやや太く、読みやすくするためのユニバーサルデザインフォントが採用され、また、色彩は淡い色が基調となっており、色覚特性への配慮がされている。 ○ 感動を与えたい教材では大きく写真を載せたり、身近な教材では親しみやすい絵を載せたりするなど、生徒の目線に立って図表等を配置されている。 ○ 製本は紙面を大きく開くことができる堅ろうなあじろ綴じである。再生紙や植物インキを使用するなど、環境やアレルギーへの配慮がなされている。 						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳 7 2 2 8 2 2 9 2 2	書 名	輝け未来 中学校道徳 1年 輝け未来 中学校道徳 2年 輝け未来 中学校道徳 3年
			学図				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点を踏まえた「四つのつながり（『命』『自然』『人・社会』『世界・文化』）」を設け、これらの視点に沿って内容をまとめる工夫がされている。 ○ 全学年に「いじめ」問題に正対して考える教材と、いじめを生む日常生活に注目する教材が設定されている。命を尊重し、好ましい人間関係の確立ができるよう配慮されている。 ○ 学習意欲を高めるために、学年が上がるにつれ、設問の内容や「心の扉」に書かれた内容を深化させていくなど、生徒の心身の発達の段階に応じた配慮がされている。 ○ 「四つのつながり」が段階を追って発展していく構成になっており、各教材に生徒が自ら課題意識を持って深く考えられるよう「学びに向かうために」という設問を設けている。 ○ 様々な地域や時代の人物を取り上げるとともに、写真や図表、漫画など多彩な教材で現代的な課題を扱うように工夫がされている。また、各教材は出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配 列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間35時間に対応する35教材が設けられている。学習指導要領総則に示された重点項目については複数教材を配置して学習効果が上がるよう配慮されている。 ○ 「四つのつながり」を内容のまとまりとして扱い、各教材でその時間に考える内容項目と主題を示すことで、生徒が授業のねらいに向かって考えられるよう配慮されている。 ○ 教材ごとに書き込みスペースを設け、学期の終わりや1年間の学習後に振り返るページを設けることで、内容項目について発展的に自分を見つめられるように工夫されている。 ○ 4つの内容項目の教材が、長期休業を挟む3つの学期に偏りなく実施されるように配置されている。学校行事に合わせてテーマを設定できるよう配慮されている。 ○ 全国の様々な地域の題材や人物、学校行事や地域活動等様々な事象における道徳的価値を取り上げ、生徒の生活や地域の実態に合わせてられるよう配慮されている。 						
3 学習と指 導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が多面的・多角的に深く考えることができるよう授業の展開に沿ったマーク（「考えよう」「見つめよう」「意見交換」）を付け、考える場面と議論する場面が区分けされている。 ○ 各教材には「心の扉」設けられ、教材で学んだ道徳的価値を更に自分のこととして捉え、主体的な学びができるよう身近なテーマを題材にした書き込み欄が設けられている。 ○ 生徒の多様な個性を生かす場面では「意見交換」の発問が設けられ、多様な考え方を交換し合い、自他の違いを前提とした話合いができるよう配慮されている。 ○ 他教科等との関連を意図した教材を配列するとともに、授業がねらいとする内容項目に向けて焦点化していくように、発問が「基本－中心－後段」と組み立てられている。 ○ 学年初めに「学級づくり」のページが設けられ、道徳の授業を円滑に行えるよう人間関係づくりに配慮されている。挿絵も資料に合わせて絵のタッチを変える工夫がされている。 						
4 表現と体 裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校配当漢字と常用漢字及び固有名詞等に振り仮名を付け、生徒の読みの負担を軽減するようにしている。色使いやマーク類については視認性を高くする配慮がされている。 ○ 4つの視点をアイコンで表し、現代的課題などは10種類のマークで示すなど内容項目と主題を教材の初めに提示することで、生徒が課題に向かいやすいように工夫されている。 ○ カラーユニバーサルデザインの観点から、配色とデザインに工夫がある。教科書本文などは視認性に対する配慮からユニバーサルデザインフォントが使われている。 ○ 資料は新聞やグラフ、漫画や写真など様々な媒体が使用され、生徒の関心を高めるために見開きに大きく載せたり、注意を引くために隅に描いたりと大きさを工夫している。 ○ 製本は糊付けを施した無線綴じである。堅ろう性を高め、生徒が開きやすいよう工夫されている。用紙やインキについては環境やアレルギーに配慮された仕様となっている。 						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳 7 2 3 8 2 3 9 2 3	書 名	中学道徳1 とびだそう未来へ 中学道徳2 とびだそう未来へ 中学道徳3 とびだそう未来へ
			教出				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の興味・関心を高める教材や身近な出来事を扱った教材を取り上げ、登場人物に自己を投影して道徳的諸価値の理解を深めることができるよう工夫されている。 ○ 「生命の尊さを考える」「いじめや差別のない社会に」「情報とよりよくつき合う」の3つを重点テーマとし、生徒の発達の段階等を考慮して指導できるよう工夫されている。 ○ 巻末に「学びを記録しよう」の欄を設け、生徒が自分の変化や成長を感じたり、これからの課題や目標を見付けたりしながら学習できるよう工夫されている。 ○ 教材の末尾に「学びの道しるべ」を設け、生徒が物事を多面的・多角的に考えられる発問を示し、対話的な学びを深めることで道徳的諸価値の理解を深めるよう工夫されている。 ○ 長く親しまれてきた教材や社会をつくり上げてきた人々の教材、道を切り開いてきた人々の生き方に学ぶ教材など幅広く採用され、出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年を通して、取り組みやすさが重視され、生徒が学びやすい教材内容となっており、生徒の発達の段階に即して、学期ごとの偏りがないよう配列されている。 ○ 他教科等の実施学年や時期などを考慮した教材配列となっており、関連が図られている。また、学習のねらいが明確で、生徒が学びやすいように工夫されている。 ○ 重視している内容項目「生命の尊さ」は、複数の教材が掲載されており、繰り返し学習することによって生徒の考えが深まるよう配慮されている。 ○ 各学年、補充教材を5点掲載し、学校や生徒の実態に応じて弾力的に扱え、重点化したい指導内容を深めたり地域教材として活用したりすることができるよう配慮されている。 ○ 学習する時期と教材の内容の季節が一致するよう配列されており、生徒が学びやすく、親近感を持てるよう配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材冒頭の「導入」では、学習のねらいを意識した問い掛けがあり、生徒が学習テーマを把握し共有することによって、対話的な学びを深められるよう配慮されている。 ○ 教材ごとに設けられた「学びの道しるべ」では、教材理解だけでなく物事を自分のこととして捉え、多面的・多角的に考えることができるよう発問例が示されるなど配慮されている。 ○ 生徒の発達の段階や特性を考慮した教材が設けられており、体験的な学習を取り入れたり、日々の体験を基に話し合ったりすることができるよう工夫されている。 ○ 様々な学校行事や体験活動等との関連が図りやすいよう配慮された教材配列で、生徒にとって学びやすい内容となるよう工夫されている。 ○ 写真や図表、挿絵等は教材文に関連して、生徒がイメージしやすいように掲載されており、思考のヒントになるよう大きさや配置が工夫されている。 						
4 表現と体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は読みやすい文章で構成されている。独特の言い回しや難解な語彙は注釈を付けて解説しており、生徒が理解しやすいよう配慮されている。 ○ 生徒の思考の補助となるように、それぞれの教材に合った挿絵や写真が掲載されている。挿絵は表情が豊かで、生徒が内容をイメージしやすいよう配慮されている。 ○ 各ページともに活字の大きさや字体が適切で、判別しやすい配色で構成されている。また、写真や挿絵は明るく鮮明で、白黒写真も濃淡がはっきりして見やすく工夫されている。 ○ 教材内容の理解を助けるために、見開きページに写真、挿絵、図表等が見やすく配置されている。 ○ 再生紙と植物インキを使用し、印刷にはグリーン電力を使用しており、地球環境への影響を少なくするよう配慮されている。 						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	3 8	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳 7 2 4 8 2 4 9 2 4	書 名	中学道徳1 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳2 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳3 きみが いちばん ひかるとき
			光村				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の発達の段階に即した生徒の心を捉える多様な教材が選定され、自分の生活や生き方の問題として問題解決的な学習や体験的な学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ 全学年で「生命を大切に作る心」の育成に重点を置き、生命の尊さに関する教材を学年ごとに3つずつ掲載し、様々な観点から生命に対する学びを深められるよう配慮されている。 ○ 生徒の生活経験や発達の段階に応じた学習内容が配列されており、特に重点内容項目は複数の教材で扱うなど、生徒の学習意欲を高めるよう配慮されている。 ○ 「学びのテーマ」に応じて設けられた「ユニット」は、複数の教材で構成されており、内容項目間の関連を意識した配列で、学習の充実と発展が図られるよう配慮されている。 ○ 読み物教材、視覚的に生徒の興味・関心を喚起する教材、データや複数の資料からなる教材など、多様な教材が偏りなく配置されており、出所、出典も明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活の実態とそれに伴う生徒の成長を考慮して、年間を4つのシーズン（まとまり）に分けて構成され、各学校の実態に合わせた学習ができるよう配慮されている。 ○ 教材ごとに「てびき」を用意し、「学びのテーマ」には、生徒が教材を通して何を学ぶのかを示され、学習のねらいをはっきりと意識できるよう配慮されている。 ○ 指導内容の重点化に留意し、特に「生命を大切に作る心」の育成に重点を置き、各学年の実態に応じて、関連的・発展的に学習できるよう配慮されている。 ○ 1時間扱いの教材や複数時間扱いの教材、補充教材の合計36教材が発達の段階を考慮し適切に配置され、内容項目の数や分量を学校の年間計画に適合できるよう配慮されている。 ○ 職場体験や文化祭など、多くの学校で行われる行事を題材にした教材が随所に配され、学校や生徒の実態を踏まえた時期に扱うことができるよう配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに用意された「てびき」における「見方を変えて」には、視点を変えた問いが設定され、生徒が多面的・多角的な見方や考え方ができるよう配慮されている。 ○ 1年では「正義」、2年には「ゆるす」、3年では「自立」というテーマでページを設け、複数の道徳的価値が含まれた内容として、生徒が進んで考えるよう工夫されている。 ○ 生徒が授業で学んだことや感じたことを「私の気づき」に記入し、学びを振り返り自分自身の個性や能力の伸長を把握できるよう配慮されている。 ○ 「てびき」には「つなげよう」が設けられ、他教科や特別活動、学校行事と関連付け、計画的・発展的に学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 教材内容の理解を助け、イメージを広げる絵や写真が適切に配置されている。表やグラフは各学年の学習した他教科の内容を踏まえたものになっている。 						
4 表現と体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校以上配当の常用漢字全てに振り仮名が付けられており、全学年を通して読みの負担を軽減するよう配慮されている。また、常用漢字外を用いる場合も振り仮名を付している。 ○ 支援が必要な生徒にも理解しやすいものとなるよう色の区別や文字の説明があり、どの生徒にも親しみやすく、魅力を感じるよう配慮されている。 ○ 教科書のためにデザインされた光村明朝体を用い、読みやすさに配慮している。題名や見出しは太字やゴシック体を使用し、見やすい紙面構成に配慮されている。 ○ 本文と図表等の大きさや枠組みを使ったデザインを偏りなく配置し、教材間の区切りを分かりやすくするなど、見やすい紙面構成について工夫されている。 ○ 表紙はラミネート加工を施して折れにくく、製本は堅ろうである。環境への影響を考慮した紙やエコマーク認定の植物油インキを使用するなど、環境への配慮がなされている。 						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳	書 名	中学道徳 あすを生きる1 中学道徳 あすを生きる1道徳ノート 中学道徳 あすを生きる2 中学道徳 あすを生きる2道徳ノート 中学道徳 あすを生きる3 中学道徳 あすを生きる3道徳ノート
			日 文		7 2 5 7 2 6 8 2 5 8 2 6 9 2 5 9 2 6		
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳科の目標達成のため、生徒同士の対話的な学習の深まりを促すよう工夫されている。「道徳ノート」には生徒の思いや対話から気付いたことが記録できるよう配慮されている。 ○ いじめと向き合う心、困難に立ち向かおうとする克己心、災害からの復興を目指す志の尊さなどについて深く考えさせられる教材が各学年で設定されている。 ○ 人気漫画に関する親しみの持てる教材を1年生の最初に配列したり、中学校での諸活動に関する教材を適切な時期に配列したりするなど、学習意欲を喚起するよう工夫されている。 ○ 中学生の実体験を想定し、生徒が自分に関わりが深いと感じるテーマを多数取り上げるなど、興味・関心を高め学習が深まるよう工夫されている。 ○ 今日的な課題から普遍的な問題を扱うものまで、生徒の発達の段階に応じて幅広い内容の教材が配列され、出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験や成長に応じて生徒の興味や関心の変化することを想定し、各教材が組織的・系統的に配列されるなど、学習の効果が上がるよう配慮されている。 ○ 重要なテーマは、多面的・多角的に考えることができるよう、前後の教材に関連性を持たせユニット化するなど、よりよく生きる基盤としての道徳性を養えるよう工夫されている。 ○ いじめや情報モラルなど重要な課題に関する教材が関連的・発展的に配列されており、実態に応じた重点的な取扱いに配慮されている。 ○ 各学年とも35の教材が用意されている。複数の内容項目に対応できる教材が多く、各校の課題に応じた年間指導計画に広く適合できるよう工夫されている。 ○ 部活動や学校行事、各地域を題材とした教材を取り上げている。また、防災に関する教材では復興に焦点を当てるなど、様々な境遇の生徒に配慮した内容となっている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教材に対話的な場面や活動場面を想定した発問例が用意され、多面的・多角的に自己の生き方について考え、他者と考えを深め合えるよう配慮されている。 ○ 内容項目が明示され、部活動や学校行事など生徒の興味や経験に基づいた教材について、生徒が見通しを持って主体的に学習できるよう工夫されている。 ○ いじめる側といじめられる側の双方の視点から考える教材が用意されるなど、多様な価値観を持つ生徒が意見を交わすことで学習が深まるよう配慮されている。 ○ 巻末に「教科等との関連」が記されており、学校行事の時期等に即した教材の配列とするなど、教科・領域との関連に配慮されている。 ○ 巻頭に「道徳科で学ぶこと」として学習の手引きが掲載されている。挿絵や写真等も教材の理解を助け、興味・関心を引き出すよう、大きさや取扱う場面などが工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の発達の段階を考慮した表記となっている。人名や中学校で新たに学習する漢字には振り仮名が付けられており、抵抗なく読めるよう工夫されている。 ○ 表紙のイラストや色合いは、中学生にとって親しみの持てるものとなるよう配慮されており、また、教材の内容に合った挿絵や写真が使用されるなど工夫されている。 ○ カラーバリアフリーを含めたユニバーサルデザインへの配慮がなされている。また、ユニバーサルデザインフォントが採用され、活字の大きさや字体も配慮されている。 ○ 図表等はバランスよく配置されており、割り付けも工夫されている。タイトルに主要な登場人物のイラストが添えられるなど、文章の理解や考えが深まるよう配慮されている。 ○ 別冊が一体となるブックインブックの堅ろうなあじろ綴じを採用した製本がなされており、植物油インキと再生紙を使用するなど、環境にも十分に配慮されている。 						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳 7 2 7 8 2 7 9 2 7	書 名	中学生の道徳 明日への扉 1年 中学生の道徳 明日への扉 2年 中学生の道徳 明日への扉 3年
			学研				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「プラス思考」「未来志向」を備えた生徒の育成を目指し、物事を多面的・多角的に考えて議論するための多様な意見の提示や関連情報の提供等、教材の内容が工夫されている。 ○ 「生命尊重」と「いじめ防止」を重点テーマとし、時代に即した題材を用いて体験的な学習（役割演技・アンガーマネジメント等）のページを設けるなどの工夫がなされている。 ○ 同じ内容項目の教材は、生徒の生活実態や発達の段階を考慮し、考えの深まりや視野の広がり等、学年の実態を意識した教材で学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 自分を見つめるページや学びを振り返るページ、「クローズアップ」等の特設ページを設けるなど、各ページを活用して学習の充実と発展が図れるように配慮されている。 ○ 問題意識を引き出す教材や読み継がれてきた教材、現代的な課題の取組を促す教材等が偏りなく配置されている。また、教材や挿絵等についての出所・出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1つのテーマに関連する複数の教材を「ユニット教材」として設定し、異なる視点や内容項目から、多面的・多角的に考えを深められるように配置されている。 ○ 各教材の内容項目が、「よりよく生きるための22の鍵」として一覧で示され、学習のねらいを明確にして指導できるように配慮されている。 ○ 巻頭に、「かけがえのない命」「働く私を考える」等、様々なテーマで分類された教材一覧を載せ、内容項目を関連的・発展的に捉え、重点的な取扱いができるように配慮されている。 ○ 内容項目の数や分量は、偏りなく組織されている。また、各学年35点の教材が準備され、各学校の年間指導計画に適合しやすいように配慮されている。 ○ 学習の時期を考慮し、学校行事や生活、伝統的な行事、季節等に合わせた教材の配列が工夫されている。また、地域に関連した教材の活用、開発にも配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「考えを深める4つのポイント」を示し、生徒が自ら問題意識を持ち、対話的な授業を通して、物事を多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。 ○ 様々な分野で活躍する人から学ぶ教材を設けたり、印象的な挿絵や写真を適所に配置したりするなど、生徒の興味を大切に、学習の動機付けとなるように配慮されている。 ○ 身近な事柄や今日的な課題について、実話や創作、詩や写真といった教材等で多様な観点から問題意識を喚起し、生徒の多様な個性や能力に対応できるように配慮されている。 ○ 巻末に、全ての教材について関連する教科名とその内容が記載され、関連付けて指導できるように配慮されている。 ○ 挿絵や図表、写真等が効果的に掲載されており、生徒が場面を想起しやすくするための工夫がなされている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校に担当されている漢字及び常用漢字外の漢字に振り仮名を付けたり、本文を読みやすいところで改行したりするなど、生徒が読みやすいように配慮されている。 ○ マークや内容ごとの色分けで紙面構成を統一し、親しみを感じられるような温かみのあるデザイン・色使い等を工夫し、生徒が抵抗なく学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 活字は大きく、読み違いを少なくするためのユニバーサルフォントを使用している。また、全ページともユニバーサルデザインに対応したカラー刷りで、鮮明な印刷となっている。 ○ 教材は全て見開きで始まり、余白を適度に確保したゆとりある紙面構成になっている。図表や挿絵、写真の配置は、視覚的に捉えやすいよう配慮されている。 ○ 製本は開きやすく堅ろうである。また、環境に配慮した紙と植物油インキが採用され、リサイクル性の高いPURのりが使用されている。 						

種 目	道 徳	発行者の 番号・略称	2 3 2	教科書の 記号・番号	道徳 7 2 8 7 2 9 8 2 8 8 2 9 9 2 8 9 2 9	書 名	中学生の道徳 自分を見つめる1 中学生の道徳ノート 自分を見つめる1 中学生の道徳 自分を考える2 中学生の道徳ノート 自分を考える2 中学生の道徳 自分をのばす3 中学生の道徳ノート 自分をのばす3
			廣あかつき				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本冊では、人間としての生き方についての考えを深め、別冊では道徳的思考や道徳的諸価値の理解を深め、二冊を併用することで道徳科の目標を達成できるよう工夫されている。 ○ 「いじめ防止」「生命の尊重」について、発達の段階に応じた様々な教材をそろえており、生徒が自分自身のこととして多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ○ 学年が進むに従って「道徳的価値を見だし、その良さに気づく」段階から「価値そのものを深く考え、哲学的に思索する」段階へと学びが深まるよう教材が選定されている。 ○ 生徒が自分事として考えたり、対話を通して考えを深めたりすることができる教材等が精選されており、道徳性を構成する諸様相を、偏りなく養うことができるよう配慮されている。 ○ 先人や著名人などの人物教材、名作・感動教材、現代的な課題に関する教材、人権に関する教材や情報モラル教材など多様な教材が配されており、出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも学習指導要領に示された4つの視点において、多様な教材が偏りなく取り上げられており、発達の段階や題材の系統性に配慮されている。 ○ ねらいを明確にするために、各教材には「学習の手がかり」が示されており、生徒が1単位時間の授業において見通しを持って学習できるように配慮されている。 ○ 「自主、自立、自由と責任」「生命の尊さ」「思いやり、感謝」「よりよく生きる喜び」に関する教材を各3教材掲載し、指導の重点化を図れるようにしている。 ○ 各学年、35点の主教材と発達の段階に応じた特集ページが2ページ用意されており、各学校の年間指導計画に適合できるように、工夫されている。 ○ 生徒の日常生活と関連する内容や現代的な課題に関する教材などが掲載されており、地域や生徒の実態に応じた指導ができるよう配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本冊の「考えを広げる、深める」では、生徒が教材を自分事としてより考えを深めたり、対話を通して考えを広げたりできるような発問例が記載されている。 ○ 本冊の「学習の手がかり」では本時の「めあて」が記載され、見通しを持って学習できるよう工夫され、また、考えを深めていくための手がかりとなる問いが用意されている。 ○ 別冊では、内容項目について書くことを通して深めることができるよう配慮されおり、生徒の実態に応じた使い方ができるよう工夫されている。 ○ 別冊には、各教科の学習内容や、他の教育活動等と関連する内容の資料や人物が紹介されており、生徒の多様な学習に対応できるよう工夫されている。 ○ 教材の内容に沿って、学習の手引き、挿絵、図表、写真等が効果的に配置されており、生徒が場面のイメージをしやすいように工夫されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み取りに差異が生じないよう、配当漢字及び未習の漢字には、全て振り仮名が付けられており、学習に支障をきたさないよう配慮されている。 ○ AB版を採用し、紙面にゆとりを持たせ、圧迫感のない、読みやすい構成になっており、生徒が取り組みやすく、親しみや魅力を感じるよう工夫されている。 ○ 本冊の教材文や、別冊の活字はそれぞれ大きく、イラストや写真の色彩・印刷は鮮明で、生徒が読みやすく、見やすいものになるよう配慮されている。 ○ 見やすさ、読みやすさを重視した明るい紙面に、イラスト等がそれぞれの教材の内容に沿って適切に配置されており、生徒が内容を理解しやすいよう配慮されている。 ○ 本冊は背に厚みを取り、見返しを付けて強度を高め、別冊を本冊巻末に収納できるように工夫されている。本冊、別冊ともに植物油インキが使用され、環境に配慮されている。 						

種 目	道 徳	発行者の 番号・略称	2 3 3	教科書の 記号・番号	道 徳 7 3 0 8 3 0 9 3 0	書 名	道徳中学校1 生き方から学ぶ 道徳中学校2 生き方を見つめる 道徳中学校3 生き方を創造する
			日科				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な見方や価値観があることに気付くことができる教材を各学年に設定し、書く活動や意見交換等を通して思考を深め、多面的・多角的に考える力を育てる工夫がされている。 ○ 「いじめ防止」に関しては、各学年において「生命の尊重」と関連付けて設定されており、いじめを許さない心の育成が重視されている。 ○ 「LGBT」などの現代的内容を発達の段階に合わせて取り上げ、現代社会における他者や社会との関わり方について考えさせる教材が設定されている。 ○ 答えが一つではない道徳的な課題を教材として各学年に取り上げ、自分のこととして捉え議論させる工夫やよりよく生きる意欲を育てる工夫がなされている。 ○ 先人や著名人の実話、定番の読み物資料、現場の教師たちが執筆したオリジナル教材など幅広く採用され、出所、出典が明示されている。 						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ ストーリーに連続性を持たせた教材を学年ごとに系統的に配置し、生徒の発達の段階に合わせて思考を深めさせることを意図しており、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを踏まえた各教材に内容項目を示すことで、学習のねらいを明確にして、指導できるよう配慮されている。 ○ いじめの問題を重視し、「友情、信頼」の教材を各学年とも3編掲載するなど、指導の重点化が図れるよう配慮されている。 ○ 内容項目順に教材が配置してあり、各地域、各学校の特色や方針によって自由に教材を組み替えることができるため、年間指導計画に広く適合できるようになっている。 ○ 「心の成長を目指して」を各学年の初めに配置し、「道徳科」を学校、社会、家庭の中で位置付け、生徒により広い視野から道徳的価値について考えさせるように促している。 						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 考えを深めるための設問や自分をみつめる設問、議論を促す設問が多く、生徒が自分の考えを持ち、道徳的問題を主体的に解決していく力を身に付けるための工夫がなされている。 ○ 日常生活で直面する葛藤を取り上げた教材や、結末が描かれていない教材など、生徒が自然と考えたくなる題材を取り上げ、主体的な学習に向かえるような配慮がされている。 ○ 挿絵や写真は教材の印象に合わせたものが掲載され、情景等をイメージしやすい工夫がされていることから、どの生徒にも内容が理解しやすいよう配慮がなされている。 ○ 道徳的諸価値の理解を基盤に、他教科やキャリア教育の視点から発達の段階の連続性や系統性を意図した教材が各学年に配置されている。 ○ 学習の手引きは、図や写真などを用いて何をどのように学ぶのが分かりやすく示され、適切に配置されている。 						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読みやすい文章で表現されており、当該学年以下の漢字でも読みにくい漢字や固有名詞には振り仮名が付けられ、読むことへの抵抗を少なくする配慮がされている。 ○ 強く提示したいテーマの写真や絵は1ページを使ったり、生徒が考える場面では親しみやすいイラストを挿入したりと、学習に取り組みやすい配慮がなされている。 ○ 活字の大きさや字体を教材文と考える場面によって変える工夫がされており、必要な情報や難解な言葉は本文下段に注釈を付けるなど、理解しやすく見やすい配慮がなされている。 ○ 図表等の大きさや配置が見やすく配慮され、内容項目ごとに色分けされるなどの工夫もされている。 ○ 表面は丈夫な表面加工を施している。氏名欄は記入しやすいよう加工してあり、製本は体裁がよく堅ろうである。 						